



2021年5月

第311号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 花輪 宗命
副会長 山本 英次
書記 長谷川あや子
会計 小口 多津子
直前会長 並木 信一
担当主事 中里 敦
プリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 重子

国際会長 Jacob Kristensen(デンマーク) 主題 価値観、エクステンション、リーダーシップ スローガン「命の川を信じよう」
アジア太平洋地域会長 David Lua(シンガポール) 主題:「変化をもたらそう」
スローガン:「奮い立たせよう」
東日本区理事 板村 哲也(東京武蔵野多摩) 主題:「変化を楽しもう」
副題:「助け合い、分かち合い」
あずさ部部長 御園生 好子(東京サンライズ) 主題:「変わるに挑戦!」
クラブ会長 花輪 宗命 主題:「すべてに感謝」

5月例会プログラム Zoomによるライン例会

日時: 2021年5月22日(土) 18:00~20:00

(担当A班: 中里、長谷川、菅野、小口)

司会: 長谷川

Zoom操作: 中里

開会点鐘 会長

ワイズソング(1番のみ)

ワイズの信条

ゲスト・ビジターの紹介 会長

聖書朗読・祈禱 小口

卓話: 「感染症新時代への取り組み方」

医師・東京武蔵野多摩クラブ 江夏一彰ワイズ

東京YMCA報告 担当主事・中里

Happyバースデー 会長

(望月さん、中里さん)

連絡事項 会長

各担当

閉会点鐘 会長

巻頭言

継続は力なり:高尾山を愛でる

久保田 貞視

八王子には高尾山があります。市民は誰もが知っており、今や都内だけでなく全国でも広く知られた山となっています。そして、年間300万人の登山者がおり、日本一登山者の多い山です。高尾山薬王院は天平16年(西暦744年)行基菩薩により開山され薬師如来を本尊とし、その後、醍醐寺の沙門俊源により、飯綱大権現の霊神を感得し、薬王院を再興し、飯綱大権現も本尊となり、今は真言宗智山派の大本山です。高尾山には、釈迦の真骨を納めた仏舎利塔があります。1930年に日本のボーイスカウトがシャム(泰国)に遠征したときにナムパトナムの大寺院に参拝した折、タイ王室より日本とタイ国

先月の例会ポイント(4月)

在籍	13名	切手(国内・海外)	40g
メン	10名	累計	1647g
メイキャップ	2名	現金	0円
出席率	92%	累計	0円
メネット	0名		
ゲスト	1名	スマイル	0円
		累計	86,773円
ビジター	1名	オークション	0円
ひつじぐも	0名	累計	0円

今月の聖句(2021年5月)

キリストは、私たちの平和であり、二つのものを一つにし、ご自分の肉によって敵意という隔ての壁を取り壊し、数々の規則からなる戒めの律法を無効とされました。こうしてキリストは、ご自分において二つのものを一人の新しい人に造り変えて、平和をもたらしてくださいました。十字架を通して二つのものを一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼしてくださいましたのです。

(新約聖書・エフェソの信徒への手紙 2-14~16)

の少年の友好のために授与されたものです。

高尾山の魅力は仏教寺院だけでなく、自然の美しさにあります。1,000年近い大杉の並木、気候が暖温帯と冷温帯の境界に位置し、多様な植物(約1300種)が生育し、春夏秋冬と種々の花が咲き、野鳥・昆虫も多く、自然の宝庫です。11年前にはミッシュランの三ツ星に認定され、日本では富士山と高尾山の二つだけと名誉ある山になりました。

私は35年前に八王子に住み始め、もともと山国育ちで自然が好きで時折登っていました。八王子ワイズでウエルネスの一つとして、メンバーの故橋本ワイズの声掛けもあり、2007年1月29日にメンバー数人で登り始めました。毎月1回登ろうと決め、今年、2021年4月で168回目です。この14年間にワイズの仲間はクラブを退会、あるいは、加齢や病気で登山できなくなり、今では小生だけとなりました。しかし、友人、友人の紹介で参加するものなど毎回10人前後で登っています。山には四季があり、花の種類も多く、新緑あり、紅葉、雪山と変化し、虫や野鳥の声、珍しい蝶々など興味は尽きません。

この14年間に、富士五湖クラブの望月ワイズが経営する富士山の山小屋を利用して、富士山が世界文化遺産になる前の年となった年に2回、登頂しました。二回とも天候に恵まれて、頂上でのご来光は正に極楽にいるような神々しさを感じました。そのほかにも大菩薩、富士山五合目の佐藤小屋までの登山、奥多摩の三頭山、御前山、御岳山、勝沼ウオークなど番外登山を設け、仲間と楽しみながら夫々健康増進に努めています。昨年6月に「霊気満山 高尾山～人々の祈りが紡ぐ桑都物語」として高尾山が東京都では唯一の「日本遺産」に認定されました。

ワイズの皆さんも加齢にめげず高尾山の自然の懐に入り、森林浴により若さを維持しましょう。

皆でやる「サギソウ」植え替え作業

茂木 稔

この15年来、毎年恒例の5月5日にはクラブの花好きのメンバーと共に我が家の庭で鷺草鉢の芽の鉢植えをやって来ました。しかし、昨2020年はこの皆との作業を初めて中止としたのです。

今年も最初は中止か実施か悩みましたが、実施を決意して今年の天候が例年より早く進んでいるので、芽が土より上がってくる時期を考えて4月28日、天候が見込まれる日に実施することにしたのです。希望者をメールで募ると8名の方々から参加が申し込みになりました。

晴れの陽射しの強い当日、午後1時頃から皆が集まってきました。前日より私は庭の芝生の上に作業台としてのテーブルを2台組み立て、水苔をバケツ2個に浸けて用意し、他に赤玉土の中粒、小粒等を揃えての準備に余念が有りませんでした。昨年皆で行わなかった為で、殆どの人の持参した鉢に

は枯れて芽が出ない人が多く、新しい芽は私の4鉢から移植することにしました。

この花が咲く時期は8月半ばのお盆前後であり、私には白い花が咲くとお婆さんが盆で家に帰って来ると思えます。花の大好きなお婆さんでした。

また、10年くらい前はこのサギソウの鉢を沢山皆で作し、ワイズの部会などの機会に会場に運んで皆さんに販売したことが何度もありました。そして後日、夏になり良い花が咲いたとその写真が送られて来たことが何度もあり、皆を喜ばせてくれたものです。

1時間半ほどで皆の作業も終わり、3時頃よりは居間で皆が一緒にティータイムとなり、皆さんが持参してくれたお菓子を楽しみながらコーヒーや紅茶で今迄のワイズの楽しい思い出を中心に明るい話が弾みました。家の遠い方が帰る折に鉢を2個も持つと大変重くなるので、車で来ていた方が駅まで送ることとして解散することにしました。

当日の参加者は小口、花輪、山本、福田、望月、中村(茂木ネットの友人)、茂木ネット、茂木の8名でした。この鉢を上手に育て素敵な花をこの夏に咲かせることを期待しています。



参加者：福田・小口・花輪・望月・山本のワイズメンバー

ピタリと、つながった「プランター栽培」講座

小口多津子

5月の爽やかな日々なのに、今年もコロナウィルスに翻弄されています。行事が無くなり、こうなるとクラブだけの中では、行動がどうしても狭くなり、会えない日々をどうしたらいいのだろう、となってしまいます。

そのような時に、入ってくる他クラブの情報。私には、パズルの一個がピタリとはまったように感じたのが、東京多摩みなみクラブの「野菜のプランター栽培を楽しもう」のプログラムでした。昨年9月まさに、何もすることのない自粛中の私の毎日が活気づきました。全くいい時に、すばらしい企画をされたと思いました。

習ったとおりに育てて、毎日デッキに並んだ、プランターに目が釘付けになりました。すぐに大きくなるはずがないのに、太

陽の動きに合わせてプランターを移動させていたのには、笑われてしまいました。講師は、多摩みなみクラブメンバーのNHK番組「野菜の時間」を担当の藤田 智先生。月 2 回の ZOOM による座卓講座で、私には忙しい日が続きましたが、1 か月後には、収穫ができて食卓に並び、春菊が柔らかく、甘い味がしてびっくりしました。

講座で藤田先生は植物を通しての人生訓を何気なく話されますが、その一つ今も心に残っている言葉は、「沢山の植物の栽培をしていると、ふと視点を変えることに会う瞬間がある」と言われました。

また、昨年10月の八王子例会に、種苗会社にご勤務のメンバー並木真さんが「種と野菜の話」という卓話をされました、そのことを9月の講座の時に例会の宣伝をしたら、早速に藤田先生が、並木真さんのお話が聞きたいとのことで、例会に出席されました。その繋がりから、今回の春の講座第2弾準備会は真さんも加わり、一部の種も苗も会社の製品が使われることになり、先日はその苗の梱包、発送もされました。ちなみに、今回の講座で配布されました、えだ豆の種はカネコ種苗のもので、種の名前を「湯あがり娘」というそうで、この味は絶品とのことです。今回の講座参加者は八王子クラブから6名となりました。

パズルのピースを見付け、参加の申し出をし、ピタリとはまると日常が変わります。当たり前ですが、繋がるということは視点をも変えられるということでしょうか。輪が広がると行き来も楽しく、クラブ間の会話で、思いも寄らずワイズ活性的のヒントが得られたりすることも分かりました。ZOOM の効果を大いに感じた、春の行事でした。



並木 真さんと講座担当 石田 孝次さん

きゅうり
なす
とまと
ピーマン



高尾わくわくビレッジ便

館長 菅野牧夫

早いもので八王子ワイズに所属するようになって1年が過ぎました。昨年の4月に緊急事態宣言が出され、4月、5月は全館休館を決断いたしました。今年度も4/25(日)から緊急事態宣言が発令されましたが、昨年度とは状況が少し違います。体育施設は営業を休止しましたが、他の施設に関しては営業時間を時短して営業しており、宿泊利用については通常通りにお客様を受け入れています。

宿泊を伴う学校団体や青少年団体の利用はほぼキャンセルになってしまいました。個人のお客様の利用でゴールデンウィークはにぎわいました。周りの施設が閉まってしまったことも影響しているのか、原っぱはゴールデンウィーク中、毎日たくさんの方が遊びに来ていました。最近では日除けのために簡易テントを持ち込んで来るお客さんが増えてきていて、原っぱがテントサイトのようになっていました。

お客様が増えてくれるのはうれしいことですが、人が集まってしまうので複雑です。感染拡大を防ぐために、感染防止対策を行ったり、施設の運用を止めたりしていますが、そのために他の部分に人が集まってしまっています。いつか感染源にならないかとひやひやしています。なかなかまいバランスにならないものですね。

先月お話ししましたが、わくわくビレッジでは八王子市の要請を受けて、5/12(水)よりワクチン接種がスタートします。5月から7月の期間で接種を進めてまいります。少しずつではありますが、光が見え始めてきた感じがします。ワクチン接種が順調に進み、わくわくビレッジスタッフもお客様もわいわい楽しく過ごせる日も近づいてきています。期待しています。



わくわくビレッジのワイズガーデンで咲いたジャーマンアイリス

中大ひつじぐも便り

ひつじぐも ワイズ係 渡辺伊純

さわやかな季節になりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。東京都や関西では3度目の緊急事態宣言が発令され、まだまだ気が抜けない日々が続いています。私の実家の徳島県も、変異株の影響で感染者が急激に増え、感染者の100%が変異株に感染していると発表されました。

さて、4月もひつじぐもはオンラインで勉強会を行いました。勉強会のテーマは「TNR と動物愛護を考える」という題で、私が発表を行いました。最初に、日本における犬猫の殺処分数の現状と、殺処分数される犬と猫の割合をデータにより確認しました。犬猫の殺処分数は、年々減少しているものの、猫の殺処分数が犬に比べ大幅に多いことが分かりました。この問題を解決するために最近行われているTNRという活動に興味をもち、この活動についても発表しました。TNRとは、野良猫を捕獲し、不妊去勢手術を行い、術後は暮らしていた地域に猫を戻すといった活動です。また、不妊去勢手術中に、猫の耳先はV字にカットされます。V字カットすることにより、保健所に連れていかれることや、2重に不妊去勢手術されることを防ぎ、猫の命が尊重されている印になっています。このようにTNRとは、不幸な猫が増えることを防ぎ、猫の殺処分数減少に大いに貢献している活動であることが分かりました。

その他にも、動物愛護の定義を考え多頭飼育崩壊の問題についても発表しました。問題や課題を発表した後、部員同士で犬猫の不妊去勢手術の重要性や正しいペットの飼い方について話し合いました。命の重さと、殺処分の深刻な現状を知ることができたオンライン勉強会でした。今後もオンライン勉強会で、あらゆる問題や課題について部員たちで考えていきたいと思っています。

季節の変わり目に体調を崩されませんよう、皆様くれぐれもご自愛ください。

東京 YMCA 便り

東京 YMCA 所長 中里 敦

- ◆緊急事態宣言下の中、5月を迎えました。YMCAのプログラムでもプールが中止になるなど影響を受けています。その反面、保育園、学童などは感染予防をしながら、緊張感の中通常の業務をしている状況です。ワクチンの接種、コロナ感染者数の減少など少しでも安心できる日になることを願います。そのような中ですが、いくつかのプログラムが実施されましたので、ご報告いたします。
- ◆新年度最初の「早天祈祷会」を、4月1日午前7時より初めてオンラインで開催しました。古賀博牧師(東京YMCA評議員会会長、日本基督教団早稲田教会牧師)に「いま、改めて“絆”を」と題して説教をいただき、27名の出席でした。
- ◆4月8日に「第30回チャリティーゴルフ大会」がPGM総成ゴルフクラブで開催され、18グループ、70名が参加しました。感染症拡大防止のため、表彰式や懇親会は見送り、別途表彰記念品を参加者に渡しました。益金は約25万円になり、障がい児プログラム支援、フレンドシップファンド、不登校の子ども支援、災害復興支援に用いさせていただきます。チャリティーゴルフ実行委員会が準備と運営を担い、多くの個人や企業から協賛をいただいたプログラムでした。感染予防をしながらでしたが、絶好のゴルフ日和で皆さん楽しんでいただけました。
- ◆東日本大震災から10年にあたり、冊子「2011～2020 東日本大震災復興支援活動10年の歩み」を作成しました。これまでに東京YMCAが会員やユースボランティア等とともに石巻地域で行ってきた活動や、福島の家や子どもたちを対象としたプログラム他、多岐にわたる復興支援活動の記録に加え、関係者数人へのインタビュー内容も掲載しております。ご希望の方は会員部までご連絡ください。

今月の聖句によせて (2021年5月)

コロナウイルスの脅威が続く中、ワクチン接種がはじまりました。限られた数のワクチンに先着順の申し込み受け付けで、私も、つながることのない電話に多くの時間を費やしました。結局、義理の娘の助けを借りて、申し込みは出来ましたが。

このようなコロナウイルスのイライラも背景の一つともいわれますが、アメリカで、アジア系の人に対する暴力事件が多発していることが報じられています。自らの差別意識を募らせ、暴力行為を働くことで、自らの鬱憤を晴らそうとする、罪深いことです。このような行為の根底にある内面の精神は、「人間は神の前に斉しく罪深い存在である」ことにはいつくのではないかと思います。人間は一人一人みんな違う。しかしながら、神様の前においてみんな罪深い存在であることにおいて、みんな同じであること。しかし、コロナウイルスは人間社会の様々な側面において分裂を助長しているようです。

いま、この時、あらためて、キリストが十字架上の死をもって、人間の罪を購い、神様と和解させ、様々な敵意を滅ぼし、分裂から一致へと導かれたことに、心を寄せたいと思います。

並木信一

今月の例会報告 4 月度

報告)

2021 年 4 月第一例会—北野事務所大会議室

日時:2021 年 4 月 10 日(土)18:00~20:00

※東京 YMCA 報告…中里担当主事

※「クラブの強みを生かす」…田中博之ワイズ

☆多摩みなみクラブより一家庭菜園を楽しもう

Zoom で 7 回講座(藤田智ワイズ)

出席:久保田・小口・中里・並木信一・並木真

花輪・福田・茂木・望月・山本(10 名)

ゲスト:酢屋善元さん

ビジター:田中博之さん(東京多摩みなみ)

(合計 12 名)

第 4 回東日本区役員会出席:長谷川

(今後の予定)

・東京 YMCA 大会(ZOOM) 5 月 22 日(土)13:00~

・5 月第一例会:5 月 22 日 18:00~ZOOM

卓話:「感染症新時代への取り組み方」

江夏一彰ワイズ(東京武蔵野多摩クラブ)

2021 年 4 月第二例会(ZOOM 例会)

日時:2021 年 4 月 24 日(土)18:00~19:40

出席:菅野・久保田・小口・中里・並木信一

並木真・長谷川・花輪・福田・茂木・山本(11 名)

(今後の予定)

・第 3 回評議会:5 月 8 日(土)18:30Zoom

・6 月 12 日第 24 回東日本区大会 13 時 Zoom

・6 月第一例会:6 月 26 日(土)18 時

(北野事務所を予定、状況によって Zoom)

・2021-22 部大会:10 月 16 日(土)午後

高尾わくわくビレッジ研修室②

(協議)

・チャリティコンサートについて

チャリティの目的を検討

・地域に根付いた活動(特に子どもたちのために)今後の課題として考えて行く。

卓話 :「感染症新時代への取り組み方」

紹介 江夏 一彰氏

鶴見大学歯学部を卒業後、口腔病理学講座助手、東京医科歯科大学医学部非常勤講師を経て、東京都立多摩総合医療センター検査課で勤務。また、2012 年日本聖公会執事、2017 年司祭となり教会での働きにも従事している。7 年前からは、NPO 法人多摩の医療健康増進フォーラムでの活動で健康増進カフェを始めた。

報告)

2021 年 4 月第一例会(4月10日)報告

・日時 4 月 10 日(土)pm6:00~8:00

・場所 北野事務所大会議室 ・担当班C班

・出席者(敬称略)中里、小口、久保田メン、花輪、福田、並木(真)、望月、茂木、並木(信)、山本。

ゲスト(酢屋善元)

ビジター(田中博之・多摩みなみクラブ) 合計 12 名

開会点鐘を花輪会長、ワイズソングは 1 番のみ、ワイズの信条、ゲスト・ビジターの紹介。

司会の並木(信)さんによる

アイスプレーキングのゲームは図解き遊び。

卓話は、中里 敦さんの YMCA の現状と理解のお話。

「昨年、今年度とコロナ禍にあって事業としては赤字決算で来たけれども、YMCA の使命や理念に基づいて、全部の YMC A グループが成り立っていること。

新しいスローガン(みつかるとつながる。よくなっていく)のもとで出来た、ポジティブ Y のロゴマーク。このマークの誕生によって、これまで日本中の YMCA は、それぞれの YMCA マークが使われていたものを、今後は統一感持つため、組織力の為に変えられ、中身もそれに基づいて変わりました。例えば、東京 YMCA の中でウェルネス・野外に所属の西東京センターは新しい「PIT 国立」となり、拠点の名前は残してはいるが、PIT の職員と野外活動の職員が一緒にいる状態で、西東京にあるエリアを統括してコミュニティ活動を展開していく。(PIT とは、行政とつながった事業のこと)。

続けてのお話は、田中博之さんの「クラブの強みを活かす」と題して、本当の EMC とは何か、のお話。いい事業をすると人は集まってくるので、クラブの強みだけを取り上げた特色で、新しいことを考える。YMCA や地域に貢献していくと、その運動をしていく為には人を増やすことになる。これが本当の EMC である。八王子クラブは外から見ると強みが一杯あるので、理想を持つことがワイズの使命です。

多摩みなみクラブの「田中さんアピール」:家庭菜園(プランター)を楽しもう」ZOOM で全 7 回講座

指導:藤田 智先生(多摩みなみメンバー)種と苗は郵送で。

30 人募集。4/27 第一回目。

東京 YMCA 報告…(中里さん)5 月 22 日(土)pm1:30~ZOOM で会員大会を開催。

A happy Birthday…4 月久保田メン、2 月と 3 月の方、茂木メン、メネット、並木メネット、久保田メネット。(長谷川さん、菅野さんは次回に)

スマイル…8,300 円

報告事項…5 月第一例会、5 月 22 日 pm:6 時~ZOOM 例会、卓話者は東京武蔵野多摩クラブの江夏一彰ワイズ、(長谷川さんのご紹介)

5 月の誕生のメンバー

望月 隆珉さん 5 月 7 日

中里 敦さん 5 月 30 日